

第50回日本写真学会「写真好き」のための定例講演会

土門拳 DOMON Ken Exhibition

「祈りの風景—土門拳自選作品集より」ギャラリートークと 写大ギャラリー所蔵土門拳作品 特別 プリントスタディー 東京工芸大学 写大ギャラリー

東京工芸大学 写大ギャラリー 深尾美希子氏 ギャラリートークと特別プリントスタディー



土門 拳 (どもん けん, 1909—1990 年)

1909年山形県酒田市生まれ。中学時代より画家を志すが、家の事情で断念。1933年に営業写真館である宮内幸太郎写真場の内弟子となるが、報道写真家を目指し、1935年、ドイツから帰国した名取洋之助が設立した日本工房に入社。戦後は絶対非演出の「リアリズム写真」をカメラ雑誌などで提唱し、写真界に大きな影響を与えた。1958年に写真集『ヒロシマ』（研光社）を刊行、国内外で高い評価を得る。筑豊炭鉱地帯の窮状を取材した1960年刊行の写真集『筑豊のこどもたち』（パトリア書店）は10万部を超えるベストセラーとなる。ライフワークとなった「古寺巡礼」シリーズでは、仏像や寺院の撮影を約40年にわたって続けるなど、一貫して日本を撮り続けた。

土門拳展「祈りの風景～土門拳自選作品集より」

～写大ギャラリー・コレクション～

展覧会概要(抜粋)

本展は、写大ギャラリーに収蔵されている1200点を超える土門拳コレクションの中から、『土門拳自選作品集』(世界文化社、1977年)に掲載された作品のうち、風景写真に焦点を当て、仏像や自然の作品を展示いたします。

『土門拳自選作品集』の「構成—レイアウト・造本」(*)は、亀倉雄策の手によるものです。亀倉は、日本を代表するグラフィックデザイナーで、東京オリンピック(1964年)や大阪万博(1970年)のポスター、ニコンやNTTのロゴマーク等を手掛けています。土門とは10代で出会い、義兄弟と呼ばれるほど深い信頼関係を築き、多くの仕事を共にしています。

この作品集のデザインを依頼された亀倉は、3分冊に仕立てられた1巻目をカラーの風景写真でスタートさせ、日本の伝統や仏像等が続きます。2巻目は初期の作品や「筑豊のこどもたち」、「ヒロシマ」等の写真でまとめ、3巻目は「風貌」や「文楽」等の名作の後、巻末はモノクロの仏像、風景で締めくくられています。

【日時】2024年4月26日(金) 13:00～14:00 (ギャラリートーク+プリントスタディー)

【主催】一般社団法人 日本写真学会「写真好き」のための定例講演会実行委員会

【会場】写大ギャラリー | SHADAI GALLERY : 東京工芸大学 5号館 2階

➔ <https://www.shadai.t.kougei.ac.jp/access.html>

【アクセス】〒164-8678 中野区本町2-4-7 5号館(芸術情報館) 2F

地下鉄/東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線—中野坂上駅下車 徒歩約7分

1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、成願寺を右折 [GoogleMapを見る](#)

【講演会形式】展示会場での写大ギャラリー 深尾美希子氏 ギャラリートークとプリントスタディー

【定員】20名、オンライン参加:無し

【プログラム】

12:50～ 集合・受付:東京工芸大学 5号館 2階 入口付近

13:00～ 開会挨拶・写大ギャラリー 深尾美希子氏含めた 記念撮影(講師+参加者)

13:05～ 写大ギャラリー(2階)へ移動

13:05～13:30 写大ギャラリー 深尾美希子氏 ギャラリートーク

13:30～14:00 写大ギャラリー 深尾美希子氏 写真学会見学者向け特別プリントスタディー

14:00～ 展示作品の鑑賞(自由行動)

※14:00以降も記念展の鑑賞、美術館の他の展示作品鑑賞など自由行動

【参加費(記念展観覧料)】無料 ※参加者把握のため、事前参加登録をお願いします。

【参加申込】こちらの [フォーム](#) からお申し込みください ➔ <https://forms.gle/LCVHdp928JyecPfc7>

【申込締切】2024年4月22日 ※申込多数の場合は抽選になります。

【連絡先】日本写真学会「写真好き」のための定例講演会実行委員会

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学 8号館 1F

Tel: 03-3373-0724 E-mail: info@spij.jp

定例講演会実行委員会: 実行委員長: 小林裕幸(千葉大学名誉教授)

委員: 鈴木博文(ニコン), 鈴木敬子(東京都写真美術館), 西垣仁美(日本大学), 松澤良紀(OMDS)

幹事: 桑山哲郎(千葉大学), 事務局: 山岸治(日本写真学会)

